



# Weekly News

## 龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2013.03.15 No.00741

R I District 2820 CLUB 50504

会長：長友芳郎 幹事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>  
事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



### 本日のプログラム

【通常例会 03.15】  
R 奉仕の総轄  
亀尾会員

### 次回のプログラム

【通常例会 03.22】  
この指とまれ  
坂寄恵 AG

### 3月の主な行事：識字率向上月間

### 第740回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長  
ロータリーソング：それでこそロータリー  
ゲスト：なし  
ビクター：なし

#### 会長報告：長友芳郎



■懐古主義と言われるかもしれませんが、時々The National Rotarian を見ることがあります。1911年1月号（最初の発刊）にこんな記事が載っていました。誰が書いたのかわかりませんがシカゴトリビューンのコラムに「オリジナルロータリークラブは旧約聖書のエゼキエル書の第10章に見いだすだろう。どれだけの人がその事を知っているだろう。」という記事が載っていました。『エゼキエル書』（一しょヘブライ語: [עֶזְקֵאל](#)) は旧約聖書の書物の一。『イザヤ書』、『エレミヤ書』とともに、旧約聖書中の三大預言書を構成する。48章からなる。シカゴトリビューンはアメリカ中西部の新聞 Wikipedia より転載)

時代が違ったせいもあるでしょうが、The National Rotarian に掲載する事を容認する感覚は違和感を感じます。国や文化の違い、特に国民の精神基盤を築いてきた宗教的背景を我々が熟知することは不可能ですが、ある程度把握しておかないと、例えばロータリーの標語の意味するところが我々には違って捉えられる事になるだろうなどと考えてしまいます。

■懐古主義と言われるかもしれませんが、時々The National Rotarian を見ることがあります。1911年1月号（最初の発刊）にこんな記事が載っていました。誰が書いたのかわかりませんがシカゴトリビューンのコラムに「オリジナルロータリークラブは旧約聖書のエゼキエル書の第10章に見いだすだろう。どれだけの人がその事を知っているだろう。」という記事が載っていました。『エゼキエル書』（一しょヘブライ語: [עֶזְקֵאל](#)) は旧約聖書の書物の一。『イザヤ書』、『エレミヤ書』とともに、旧約聖書中の三大預言書を構成する。48章からなる。シカゴトリビューンはアメリカ中西部の新聞 Wikipedia より転載)

時代が違ったせいもあるでしょうが、The National Rotarian に掲載する事を容認する感覚は違和感を感じます。国や文化の違い、特に国民の精神基盤を築いてきた宗教的背景を我々が熟知することは不可能ですが、ある程度把握しておかないと、例えばロータリーの標語の意味するところが我々には違って捉えられる事になるだろうなどと考えてしまいます。

#### 幹事報告：川上 勉

■ロータリー財団・補助金委員会からのお願いです。  
地区補助金をご活用頂いたクラブでプロジェクトを完了



し、報告書が未提出のクラブは、5月末を目標にご提出をお願い致します

#### ■例会変更

藤代RC:3月25日の例会は、観桜会のため19:00牛久シャトーに変更します。

牛久RC:4月15日の例会は、観桜会のため4月14-15日鬼怒川ホテル三日月へ変更いたします。

■ハイライトよねやま156号をクラブ・ホームページに掲載しました。ご覧ください。

■クラブ公式訪問について長谷川年度より回答書依頼の問い合わせが来ております。次年度幹事宜しくお願い致します。

■地区大会の際に各クラブの活動を広報する場所を設けました。是非、ご活用ください。

■本日例会終了後、定例理事会を開催します。関係者の方宜しくお願い致します。

#### ■地区補助金



いよいよ地区補助金の受付が始まりました。去る3月9日その研修「地区補助金管理セミナー」が一日かけて行われましたが果たしてどのくらいの成果があったのか希望と不安が交じり合った心境であります。

基本的には、全クラブが利用して貰いたく決して難しくしてはありません。しかしながら、最小限の制約が財団から課せられております。それは、申請時の事業の見積書と地区補助金申請書が必要となります。覚書(MOU)も新設の通帳も基準から外しました。

よって、地区補助金を絡めた事業プロジェクトを必ずクラブでは一企画計画して戴き、皆様からの浄財が地域社会の皆様へ還元されることを期待致します。

## 本日のプログラム

### 「うねりの中の司法、刑事司法」

職業奉仕委員長 荒木友雄



- ・女性進出
- ・法律家庭に入る
- ・被害の事前防止と  
権利保護

数年前に、大学の先生を卒業しましたので、国選弁護士・国選付添人として、弁護士活動に取り組むようになりました。

そこで、感じたのは、この世界に「裁判員制」といった大きなうねりのほかに、注目すべきうねりが多くあることに気づき、実感いたしました。

その第一は、「法曹界に女性が大進出」していたことです。刑事弁護事件を処理してみると、至るところで、女性検察官と出会います。

私が法曹のはしくれになった約50年前には、女性の法曹人は、司法修習終了450名の中で20数名程度だったと思います。しかし、今では、新人法曹2000名中500名くらいで、4人に1人は女性ではないでしょうか。

法曹界、医学界など、資格・能力さえあれば差別のない世界では、こうした動きが大きくなりつつあることは理屈で考えれば分かります。しかし、余談ですが、最近では、実業の世界でも、女性の進出を推進する動きが大きくなりつつあります。

経済同友会では、昨年5月に、経営者の行動宣言として、「競争力としての女性管理職・役員の登用・活用」を打ち出しています。企業の競争力向上のためには、優秀な人材の登用・活用がカギになる。その一環として、有能な女性の活用に目を向けるべきだということです。大げさにいえば、日本の成長のカギすら握っているのだそうです。

私は、ある上場会社の役員をしておりますが、ここで、数年前からそのことを指摘し、変な目で見られてきました。しかし、近頃、マスコミが大きく取上げるようになって、ようやく理解されるようになりました。

「法律は家庭に入らず」。かつては、法の世界では、これが大きなテーゼでした。しかし、現在ではチト違うようです。

夫婦喧嘩をして相手に怪我をさせようものなら、かつてと違って、警察はどんどん家庭に入って来ます。時には、怪我をさせた方を傷害罪で逮捕し、被害者には、DV防止法による保護・防御の申立てを裁判所するように、積極的に指導したりします。

朝のNHKの15分間の連ドラ「純と愛」にも、ほんの一寸でしたが、そうした場面が出てきた位です。

「被害の事前防止と権利保護」については、もはや、

さまざまな制度ができて、相当の実績を上げています。

権利保護の面では、被害者・その遺族らは、法廷で検察官と並んで、加害者を糾弾することもできます。また、その損害に関して、民事訴訟を起こさなくとも、加害者を裁くその刑事手続きの中で、賠償金の債務名義も得られます。

逆に、加害者の側に立ってみると、うつ病になって、責任能力が無いか減弱した状態で行為をしたとしても、刑務所行きは免れたとしても、医療観察法によって、長期の入院や通院を強制されたりして、別な厳しい眼にあわされる可能性があります。

また、事前には、ストーカー規制法などで、厳しく監視されることもあります。この面では、現実の事件で、「思い詰めた加害者が被害者を追い回した挙句、殺害して自殺」なんてケースがあり、法制度だけでは無理な側面もあります。うまくいっているケースも多いのだと思います。

私は、弁護士・付添人ですので、どちらかといえば加害者を弁護する立場です。そうした立場から見ると、刑事司法にうねりの中に、刑罰における「厳罰化」の傾向が実感されてなりません。つまり、刑事司法制度が、犯罪への処罰・制裁に偏りすぎつつあるような気がします。犯罪によっては、被害者と加害者の双方の対立があり、その破局的現象が犯罪として現れることがあります。現在、わが国では、その関係修復手段としては、示談交渉、すなわち謝罪と被害弁償くらいでしょうか。

無いものねだりをすれば、より関係を修復する法的な手段があっても良いと思います(これを「修復的司法」といいます)。「犯罪防止」と「人権の擁護」、それに「修復的努力」、これらがどうバランスを取っていくか見守り実践して行こうと思います。



### ■出席状況

会 員	16 名	出席率	62.50 %
出 席 者	7 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
(定款第9条3節a)	1 名		

### ■ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 4件 7,000 円 (本年度累計 291,000 円)

荒木会員：花粉が目にしみますね。

海老原会員：春です！いい日です。

川上会員：日曜から花粉のないグアムへ行ってきました

横山会員：暖かい日はやっぱり良いですね。

例会の欠席は、**水曜日 AM:10:00 までに 城出 SAA**  
**TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。**